

# 情報リテラシー実習

谷口 勝紀<sup>A)</sup>, 大村 悦彰<sup>A)</sup>, 山口 倫<sup>A)</sup>, 寺村 浩徳<sup>B)</sup>

A) 先端情報グループ

B) 電気応用グループ

## 1 はじめに

本実習は情報電気電子工学科 1 年次の必修科目として行われている。本実習では、UNIX 系 OS の基本的な操作、コンピュータネットワークの各種利用方法、及びネットワークを用いたコミュニケーションにおけるマナー（ネチケット）の習得を目的とする。本実習の支援を先端情報グループ・電気応用グループの技術職員が行ったのでここに報告する。

## 2 内容

本実習は前期月曜 3・4 限及び火曜 1・2 限に実施される。各曜日の受講者は 80 名程度であり、それぞれ 2 名の技術職員が支援している。実習は研究棟 IV 2 階情報演習室で実施され、LinuxPC を使用して進められる。

実験は演習形式で進められ、以下のような基本的事項を学ぶ。

- ・ログイン・ログアウトの方法
- ・メールの読み書きの方法
- ・ファイル操作の方法
- ・エディタの使用法
- ・ネットワークを用いたコミュニケーションにおけるマナー（ネチケット）

実験における技術職員の支援内容は、挙手または口頭で質問してくる学生への指導である。本実習では、LinuxPC に学生が不慣れな状態である為、学生から質問が非常に多く出てくる。従って技術職員は常時学生に対応している状況である。

## 3 まとめ

本実習を通して学生が習得する内容は、以後学生が情報電気電子工学科の講義を受けるに当たっての必要不可欠な基本的スキルである。従って実習時間中に学生が躓いている点や疑問点を解決すべく、指導することを心掛けた。